

年末年始 愛整会館休館日のお知らせ

28日(土)～4日(土)まで休館します。

会員の皆様には、ご不便をおかけします。
ご理解、ご協力を
よろしく申し上げます。

5日(日) 申請書の受付をします。
(受付は、午後5時まで)

6日(月) 申請書締切り。
(受付は、午後4時まで)

をお招きして特別講演が行われた。

14時35分から会員研究発表者表彰が行われ14時50分、次年度主管県となる本会森川 伸治会長の閉会の辞で閉会となった。
(学術部長 西村 武蔵)



日整 社団法人設立 70 周年記念式典

12月15日(日)日本柔道整復師会 社団法人設立70周年記念式典が明治記念館にて行われ、本会森川 伸治会長が日整副会長として列席し式典の閉式の辞を述べた。

また、藤川副会長が日整理事として、石川副会長、松田総務部長、河合経理部長、中村柔道部長が日整代議員として列席した。

祝賀会では、石田 雅明会員(鶴舞支部)が形の解説を行い、世界チャンピオンの石田姉妹(取 石田 桃子 5段・受 石田 真理子 4段)による「柔の形」の演武が行われ会場を盛り上げた。

(広報部)



常滑市との「災害時の柔道整復師支援活動に関する協定」締結式

12月18日(水)14時より、常滑市役所市長公室にて、本会との『災害時の柔道整復師支援活動に関する協定』が締結された。

常滑市からは、伊藤 辰矢市長、山田 朝夫副市長、入山 佳代子 ども健康部長、鈴木 弘恵 健康推進課長、久田 佳代 健康推進課課長補佐が出席され、本会からは森川会長、石川副会長、室谷半田支部長、常滑地区代表 相羽 秀昭会員が出席した。

今回の締結は半田支部内5市5町の中で7番目になり、これで5市全て締結したことになる。

「南海トラフ地震が懸念されており、発災しては困るが災害時には頼りにしています」と伊藤市長。森川会長も「柔道整復師にしかできない仕事もあるので今後とも柔道整復師会をよろしく願いいたします」と挨拶され、その後協定書にそれぞれ署名して閉式となった。

(広報部)



第57回東海学術大会静岡大会

11月23日(土・祝)24日(日)浜松市福祉交流センターにて、公益社団法人日本柔道整復師会第57回東海学術大会静岡大会が開催された。1日目、2階ホールにて17時30分から開会式が行われ、静岡県の上杉 一寿副会長の開会の辞に続き、日整会長挨拶が長尾 淳彦会長から、主管県会長挨拶が鈴木 努会長から述べられ、17時50分から、徳山 健司日整学術教育部長が「匠の技伝承プロジェクトの意義等について」と題して、小野 博通日整学術教育部員が「エコーを柔整師の手に」と題して講演し、18時30分1日目は閉会した。

2日目、9時30分から会員研究発表が行われ、本会から天野 敦之会員が「Velocity based training(VBT)装置の使用がシニア層の荷重スクワットに及ぼす効果」を発表した。

11時から12時まで『ワークショップ』匠の技プロジェクトが『肩甲骨上腕関節脱臼』整復操作・超音波と題し、日整学術教育部員が講師を務めた。

13時から『足関節鏡下靭帯再建術の開発の歴史と成績』と題し、医療法人社団 康心会 茅ヶ崎中央病院 整形外科部長東山 礼治先生

